

国際科学オリンピックに 挑戦してみよう!!

世界中の科学好きな高校生たちが一堂に集う国際科学オリンピック。日本でも、第30回国際情報オリンピック日本大会 (IOI 2018 JAPAN)、IBO チャレンジ 2020(第31回国際生物学オリンピック 2020 長崎大会代替)、第53回国際化学オリンピック日本大会 2021(IChO 2021)に続き、2023年には数学と物理の国際大会が開かれます。世界水準の科学に挑戦し、世界の仲間と交流する機会として、ぜひ国際科学オリンピックの世界に一步踏み出してみませんか。

国際科学オリンピックオンラインイベントレポート

～メダリストや現役女子高校生らが科学の魅力と可能性を語る～

「科学は、国境もジェンダーも越えて未来を創る」をテーマに、国際科学オリンピックオンラインイベントが2022年10月22日(土)に開催されました。

第1部は、東北大学名誉教授で元理化学研究所理事の原山優子先生による基調講演でした。数学専攻後、教育学や経済学も学び、さまざまな角度から科学に携わってきたご自身の経験をもとに、日頃から「なぜ?」をきっかけに科学的に考えることを提案していただきました。

第2部のトークショーでは、東京のスタジオにいる数学、生物学、物理の国際大会メダリストと茨城県のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)に在籍する女子高校生をリモートでつないで、国際大会に出場した経験や現在の科学との関わりについて意見を交わしました。

日本科学オリンピック委員会運営委員会の北原和夫委員長は、「大会を通して世界の仲間と交流し、友人になることは将来にわたり財産になります。ぜひ国際科学オリンピックに挑戦し、世界の課題に取り組んでほしいと思います」と呼びかけました。



原山先生による基調講演。



各自が「科学×〇〇」に入る言葉を考え、さまざまな視点から科学の可能性を探りました。

国際科学オリンピック親善大使に 桢太一さんが就任

2020年に国際科学オリンピック親善大使に就任いただいたのは宇宙飛行士の山崎直子さん。2022年には、テレビ局アナウンサーとして活躍し、現在同志社大学ハリス理化学研究所助教としてサイエンスコミュニケーションを研究する桜太一さんに新たに就任いただきました。科学好きな児童・生徒のみなさんへのお二人からのメッセージは下記QRコードから視聴できます。

山崎直子さんからの
メッセージ

視聴はこち
ら▶▶



桜太一さんからの
メッセージ

視聴はこち
ら▶▶

